

〔『法学新報』第九〇号 明治三十一年九月二十日〕

○東京法学院講談会

予報の通り法学院にては本月十七日午後一時より同院の大講義室に於て加藤文学博士外数名を聘して學術講談会を開きたり、同日の傍聴人は同院の学生院友講師等無慮一千余名にて院長法学博士菊池武夫、沙市領事院友永瀧久吉、法学士松崎藏之助、文学博士加藤弘之等の四氏順次登壇、何れも學問上有益なる講演を為し午後七時頃閉会せり、同日の講演は筆記の儘逐次本紙の論説欄内に掲げて読者に頒つ